

特別会計

一般会計と区別が必要な事業の会計

8つある特別会計は いずれも赤字はありませんでした

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きなどが一致しないところがあります

国民健康保険料などは一般会計とお財布を別にして、収入と支出を確認しやすいようにしています



区分	歳入	歳出	差し引き	区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	5.2億円	5.2億円	0億円	後期高齢者医療	320億円	307億円	13億円
駐車場	1.5億円	1.4億円	0.1億円	介護保険	1,658億円	1,658億円	1億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	1.6億円	1.2億円	0.4億円	基金	23億円	21億円	1億円
国民健康保険	1,839億円	1,834億円	5億円	公債	3,685億円	3,685億円	0億円

企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計

収益的収支※1は、市立札幌病院・路面電車は赤字、中央卸売市場・地下鉄・水道・下水道は黒字です

※1 企業の経営活動に伴って生じる収入と支出
※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きなどが一致しないところがあります

	市立札幌病院	中央卸売市場	路面電車	地下鉄	水道	下水道
主な建設改良事業	老朽化した設備や医療機器の更新	老朽化に伴う市場設備の更新、改修工事	電車事業所改良建築工事、軌道改良工事、低床車両の製造	南北線シェルター耐震改修工事、エレベーターやエスカレーターの更新工事	施設、水道管路の更新や耐震化	老朽化した管路や施設の改築、雨水対策、地震対策
収益的収支	収入 243億円 → 支出 257億円 -14億円	収入 22億円 → 支出 21億円 1.2億円	収入 16億円 → 支出 17億円 -1.1億円	収入 518億円 → 支出 407億円 111億円	収入 464億円 → 支出 349億円 115億円	収入 512億円 → 支出 498億円 14億円
資金の状況	8億円の資金残	15億円の資金残	6億円の資金残※2	35億円の資金残	136億円の資金残※3	62億円の資金残
赤字の累積額	50億円	45億円	10億円	1,925億円	なし	なし

※2 一般会計からの長期借入金6億円を含む ※3 水道施設更新積立金76億円を含む

資産

基金

特定の事業や、財源が不足したときに使う貯金
●残高…5,318億円
財政調整基金320億円など24基金

財産

公園や学校などの公有財産や物品、債権
●公有財産…土地5,549万㎡、建物(延べ面積)585万㎡、有価証券14億円、出資による権利149億円
●物品(100万円以上のもの)…6,112点
●債権(民間への貸付金など)…38億円

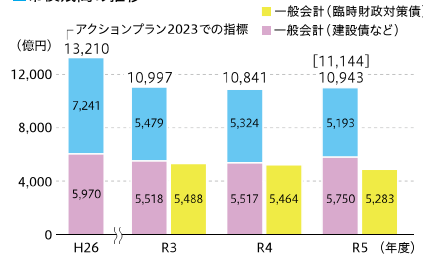
市債

市債残高の全会計合計は減少

市の借金である市債の残高は計1兆6,226億円となり、前年度と比べて0.5%減少しました。臨時財政対策債を除いた市債残高は、市のまちづくりの計画であるアクションプラン2023で見込んでいた額を下回っています。

市債残高は3年連続で減少しています

市債残高の推移



※[]内はアクションプラン2023での見込み
※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないところがあります

さっぽろのお財布

私が解説します!



市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、決算や予算の執行状況を毎年公表しています。このページでは、令和5年度の決算の概要や財政状況をお知らせします。

詳細 企画調査課 ☎211-2216

令和5年度決算の状況



まずは決算の状況を見ていきます

一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

歳入から歳出を差し引いた収支は92億円の黒字です

歳入において市税や地方交付税などの一般財源が予算を上回ったことに加え、歳出において可能な限りの節減を図ったことにより、黒字収支を維持しています。
※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

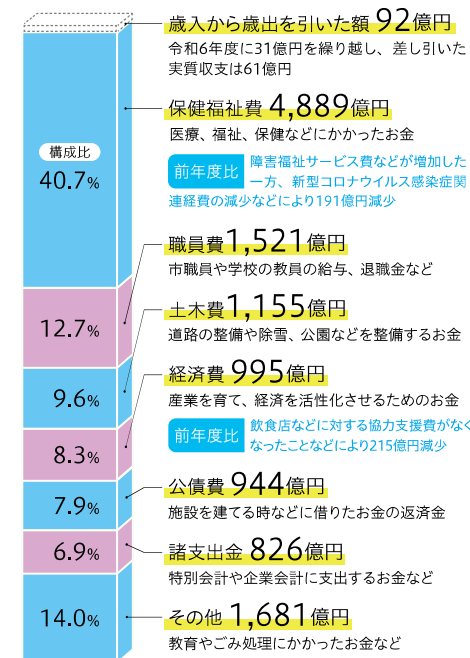
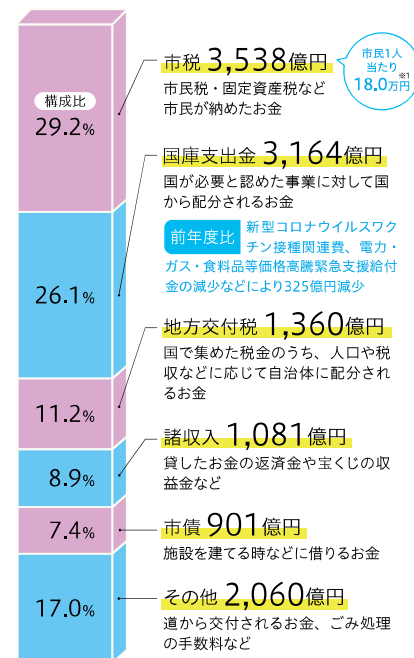
市民1人当たり
61.1万円

歳入総額 1兆2,103億円

前年度比194億円減 (1.6%減)

歳出総額 1兆2,011億円

前年度比177億円減 (1.4%減)



※1 令和6年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

市の財政の特徴

自治体の財政状況を示す指標である「健全化判断比率」は良好な水準です。しかし、医療や福祉などにかかる費用が増え、自由に使えるお金が少ない状況が続いており、油断はできません。

健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	早期健全化基準※
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 全ての会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	2.9%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金などの割合	18.2%	400%

※この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要となります

自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

財政力指数 ※高い方が望ましい

標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

0.711

政令市20都市中17位
政令市平均0.825

定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

経常収支比率 ※低い方が望ましい

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているか示す割合

95.4%

政令市20都市中8位
政令市平均95.9%

市の財政の長期的な見込みと取り組み

今後の財政運営は？

中長期的に持続可能な財政構造への転換を進めていくため、財政基盤の強化を図るとともに、財産の戦略的な活用が必要です。

- 子育て支援やまちのリニューアルなどへ積極的に予算を配分しながら、各事業の見直しを進め、めりはりのある財政運営を行う
- 将来に過度な負担を残さないように、市債の適切な管理を行うとともに、市税などの収納対策や経済活性化により収入を増やし、財政基盤を強化
- 今後もまちづくりの取り組みを進めるため、基金を活用するとともに、不測の事態への備えも含めて適正な基金残高の水準を維持

重点的な取り組み

公共施設の更新の必要性に対応して建て替え費用を抑制

- 建物を長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総量を抑制

公共施設の使用料や行政サービスの手数料の見直し

- 近年の物価高騰の影響を受け、人件費や光熱水費、公共施設や行政サービスの経費などが増加
- 市民サービスを安定的に供給するため、増加した経費の一部の利用者にも負担していただくことが必要

→令和7年4月以降に使用料や手数料を改定することを検討

1970年代に急速に成長した札幌は建物の更新時期も集中しています。そのため、費用を抑える工夫が必要です



令和6年度予算の執行状況 ※令和6年9月30日現在。各項目・区分ごとに四捨五入しています

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆2,956億円	38.2%	38.7%

特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,839億円	36.3%	39.0%
介護保険	1,746億円	39.7%	40.4%
その他	384億円	33.4%	29.3%

市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆991億円	7億円	4,963億円

企業会計 (収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	260億円	45.6%	270億円	48.7%
中央卸売市場	23億円	45.6%	23億円	46.1%
路面電車	16億円	20.6%	17億円	14.8%
地下鉄	508億円	47.1%	437億円	20.7%
水道	464億円	48.1%	387億円	43.0%
下水道	529億円	38.9%	521億円	16.3%

基金残高

5,318億円

一時借入金残高

62億円 (市立札幌病院、路面電車、下水道)

ホームページ



市の財政の詳細のほか、本年度の予算の執行状況は、ホームページでご覧になれます